

Title	日本式生産マネジメントの海外展開における課題とその対策-他社に負けなく、従業員が幸せな工場に-
Sub Title	
Author	チュアンサティアン, ナパッサワン(Chiyuansateian, Napatsusawan) 河野, 宏和
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2009
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2009年度経営学 第2451号 その他:複写許諾が必要・貸出禁止
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002009-2451

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	河野 宏和 研究会	学籍番号	80830724	氏名	チュアンサティアン ナバッサワン
<p>(論文題名)</p> <p style="text-align: center;">日本式生産マネジメントの海外展開における課題とその対策 — 他社に負けなく、従業員が幸せな工場に—</p>					
<p>(内容の要旨)</p> <p>以前、家族企業は工場のぬいぐるみであった。しかし、中国に価格競争に負けてしまい、工場を停止せざるを得なくなった。日本で学んだ知識を生かし、将来的に工場を立ち上げたいと思い、工場立ち上げる際に必要なことを研究した。その上、工場を運営していく上で“従業員が幸せな工場”や“他社に負けない工場”を軸に工場立ち上げた後、“従業員が幸せな工場”や“他社に負けない工場”が両立できるかを明らかにしたい。</p> <p>研究のアプローチは、まず予備調査を行い、日本国内で元タイの日系企業に経営者をインタビューした。項目を絞り込んで次にタイの日系企業にインタビューする前、インドネシアに進出する日系企業に3日間工場見学とインタビューを行った。その工場見学から、トップの行動を細かく分析し、トップがどういう会社を作っているか、あるいは“ありたい姿”はどのようなものを行動から分析した。分析した結果は次のタイに工場見学を行う際の元の質問項目になっている。質問項目を各会社にインタビューし、各会社の特徴や会社のありたい姿を探った。</p> <p>各会社が異なる業界・規模であるため T 社の質問票は参考質問にすぎなかった。それに、各会社の行動の違いに意味を持っている。各会社の分析を行い、問題意識である“従業員が幸せな工場”や“他社に負けない工場”が両立できるかを明らかにし、両立できる企業が少ないと分かってきた。</p> <p>それに、“従業員が幸せな工場”や“他社に負けない工場”は時系列によってできる時期とできない時期も明らかになった。</p>					